

専攻	英語専攻	氏名	今田萌愛
留学先	中央大学校(韓国)	留学時期	2022年度春学期（1年間）
<p>自分の人生観を変える、そんな大きな経験を得ることができた留学生活。</p> <p>私は大学進学の一歩の目的であった韓国中央大学校へ留学しました。</p> <p>留学先では専攻である経済学を韓国語で学ぶこと、そして経済学の授業の単位を習得することが目標でした。これを現地の学生や異なる国の留学生の方の力も借りて成し遂げることができました。またサークル活動や日本語課外授業の実施など、現地の方々との交流の機会を自ら積極的に作りに行き、実践的な会話から主にスピーキングの力を伸ばしたりもしました。</p> <p>多様なバックグラウンドの方々との交流をすること、自分で判断して行動すること、海外というアウェーな環境で他人と支え合うことなどといった経験から、語学面だけではなく考え方や精神面においても大きく成長することができたと感じています。</p> <p>一年間の韓国留学を通して得た繋がりや経験は、これからの人生で自分を支えてくれるものだと感じています。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	筒淵遥圭
留学先	中央大学校(韓国)	留学時期	2022年度春学期（1年間）
<p><u>自分と向き合うことから逃げないことで、自分は変わる。</u></p> <p><u>自分の可能性の大きさを初めて感じられました。</u></p> <p>3年の春から1年間、韓国の中央大学校に留学をしました。長期で留学したからこそ、一回り成長できる経験ができました。渡韓して半年が経つまでは、自分の持つ力を上手く活かさず何の変化もない状態でした。英語と韓国語の両方を完璧に使いこなそうとして、1番大事な「コミュニケーションをとる」ということから遠ざかっていたのです。また、自分としっかり向き合うことを避けていました。半年後にそんな状況を変えるきっかけができました。1つ目は、大学の近くのカフェに一人で行き、自分と向き合う時間を作ったことです。この時間を週に数回もつことで頭の中を整理できました。これまでと全く違う毎日を過ごす中、できていなかったこと等、自分のマイナスな部分をプラスに変える方法を見つけることができ、自分のダメな部分を受け入れることができるようになっていました。</p> <p>2つ目は、現地の学生たちと食事をしたことです。この時に私は言語の壁を超えたと思いました。英語と韓国語の二つを勉強してきたことが初めて強みに変わった瞬間でした。英語が出てこない時は韓国語で、逆に韓国語が出てこない時は英語で話したことが楽しく、会話の中で出てきた単語を時間が経っても忘れずにいられました。それ以来、現地の学生達と交流できる場所に行き、積極的にコミュニケーションをとるようになりました。今後も時間を見つけては、この2つのことを実行していきます。そして近い将来この経験を多くの学生してもらえらる機会を作り、または紹介し、サポートできる人になります。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	伊藤穂乃香
留学先	培材大学校（韓国）	留学時期	2022年度春学期（1年間）
<p>韓国の語学だけでなく、文化にも興味があり、現地で学んでみたいという思いから留学を志望しました。そして、韓国の培材大学校に一年間の留学を決めました。言葉も文化も違う土地での生活は、自分のことを良く知るきっかけにもなりました。語学の向上だけでなく、外国人留学生や韓国人の学生との交流、サークルでの活動、イベントの参加など積極的に参加しました。様々な国の留学生と交流することができたので、多様な価値観に触れることができました。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	黒沢ニキータ
留学先	ネブラスカ州立大学カーニー校(アメリカ)	留学時期	2022年度秋学期（1年間）
<p>今回、私はネブラスカ州立大学カーニー校（以下UNK）に一年間留学させていただきました。アメリカと日本は国民性が非常に異なっているので、新しい気付きが日常的にありました。UNKにはカンパセーションテーブルという様々な国の言語や文化を学ぶというような学生主体のイベントが定期的で開催されており、韓国、ネパール、ヨーロッパ諸国など多様なバックグラウンドを持つ生徒と交流ができます。私も何度か日本語を教える機会があったのですが、そこでできた友人と後日会った時に、私が教えた言葉を投げかけてくれて非常に嬉しかったです。</p> <p>個人的にはサッカー部での経験が一番の思い出です。春セメスターから入部したので活動期間は二か月ほどだったものの、スポーツを通して共通の目標を抱き、汗を流すことがいかに素晴らしいかを再確認できました。これから留学に行く方たちには、何らかのクラブやコミュニティに所属することを強くおすすめします！</p>			

専攻	英語専攻	氏名	尾形那瑠
留学先	ネブラスカ州立大学カーニー校(アメリカ)	留学時期	2022年度秋学期（1年間）
<p>授業料と寮費が免除になるフルスカラシップの交換留学生として、3年の秋から一年間、アメリカのネブラスカ大学のカーニー校に留学させていただきました。生活の中に毎日新たな発見があり、物事に対する考え方や価値観が新しく生まれました。アメリカでは人の服装を褒めたり、面白い野次が飛んだり、小さな会話で溢れており、どんな少しのことにもthank youと感謝を伝えるところは会釈で済みます日本と違い、温かみを感じた。後半のセメスターでは勉強に慣れてきたので、サッカー部に所属した。みんなと一緒に様々な戦術を立てて練習したり、遠征で試合を行ったりととても貴重な時間を過ごすことができた。いろいろな挑戦をして、人としても成長させることができた留学だった。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	幸田尚真
留学先	ネブラスカ州立大学カーニー校(アメリカ)	留学時期	2022年度秋学期(半年間)
<p>三年の夏から半年間、アメリカネブラスカ州立大学カーニー校に留学しました。現地での多くの人との交流で様々なことを学んだ。留学といえば英語力を向上させるための場という認識が強いが、実際に留学して気付いたことは、英語力向上は単なる付加価値のようなもので、もたらす最大のメリットは人としての成長だと思う。1つは自分軸で生きる事の大切さを知った。留学以前は、よく周りの目を気にして生活していた。だが、留学中に周りの堂々とした姿に刺激を受け、帰国後は自分主体のストレスフリーな生活が出来るようになった。また慣れない英語の環境に身を置くことや多国籍の友達を作ることで、チャレンジ精神やコミュニケーションへの積極性が身についた。こうして様々な経験から刺激を受け、多面的に成長することで、人生のゴールは一つではなく、どう楽しむかは自分次第であることに気付かされた。語学に収まらない成長もたらした留学にとっても感謝している。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	町屋 拓
留学先	ポールステイト大学(アメリカ)	留学時期	2022年度秋学期(1年間)
<p>今回の留学生活は点数で表すならば10点満点中11点をつけていいほどの達成度だとおもう。留学前はハードに英語を勉強し、多くの課題をこなすばかりの大変な毎日を予想していた。しかし、確かに課題の量は多かったものの、フレンドリーな教師の方々や友人たちとの交流に恵まれ、辛いと感じることはなく、とても充実していた。アメリカの授業では手を挙げて自分の意見や質問を積極的に述べるのが一般的だが、それに慣れるのには苦労した。しかし勇気を出して手を挙げ発表することで、生徒や先生が褒めてくれ自信となった。今後も英語の勉強を続け、アメリカに住むということも1つの選択肢としながら頑張っていきたい。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	前田 頼武
留学先	セントメアリーズ大学(カナダ)	留学時期	2022年度秋学期(半年間)
<p>自身を変えるための大きなきっかけとなった</p> <p>私は大学3年の夏から半年間、カナダでの交換留学を経験した。現地ではホームステイで滞在し、ホストファミリーやルームメイトと毎日楽しく生活した。公共交通機関を使って大学に通ったり、銀行口座を開いたりカナダでの日常生活を体験できたことはいい思い出である。最初の頃は想像よりも困難な出来事が多く、やっていけるのかと不安だったが、時間が経つにつて自分自身の成長に気が付き、より楽しくなった。半年間という短い期間だったが英語を習得すると同時に自分に自信が付いた。また、日本にいる時には気づくことが出来なかったことにたくさん気づくことが出来た。帰国後は英語力を低下させないためにホテルのフロントスタッフとしてアルバイトを行っている。留学は自分自身を変えるためのいい機会なので、挑戦したいと思っている方にはとてもおすすめしたい。</p>			

専攻	中国語・中国文化専攻	氏名	酒井友希
留学先	ラップランド大学（フィンランド）	留学時期	2022年度秋学期（1年間）
<p>フィンランドのラップランド大学で約9ヶ月間の交換留学を経験した。この際、北海道庁の「北海道未来チャレンジ基金」の奨学金を受けた。この留学期間は、フィンランドだけでなく、さまざまな国の友人との交流があった。留学先では特にサステイナブルな取り組みにアンテナを持って生活をしていた。国立公園でのハイキングやオーロラ、犬ぞり体験などは思い出深い。また、ウクライナの友達とも仲が良く、留学に来てからはウクライナ現状の話もよく聞いて平和とは何かをよく考えるようになった。</p> <p>大学2年生の時に予定していた中国留学が中止になったときは落ち込んだが、心機一転のフィンランド留学は視野を大きく広げる機会となった。現在は就活中だが、仕事でもチャレンジをやめずに前進し続けたいと思っている。沢山の友達ができたのでフィンランドにまた遊びにいくのも楽しみだ。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	北山 貫
留学先	ラップランド大学（フィンランド）	留学時期	2022年度秋学期（1年間）
<p>英語教員を目指している私にとって、教育レベルが世界トップクラスであるフィンランドへの留学はとても有意義なものでした。</p> <p>大学の授業を通してフィンランドの教育の構造や方法、またその支援制度など多くを学びました。実際に模擬授業を行うこともあり、得た知識を実戦形式に活かすこともできます。日本とは大きく異なる教育環境でしたが、フィンランドの良さはもちろん、日本の良さにも気づくことができました。授業外でも貴重な体験を多くしました。ルームメイトのスペイン人やスイス人とは、一緒にご飯を作って食べたり、ボルダリングやキャンプファイヤーをしに行ったりしました。フィンランドではオーロラを見ることができ、本物のサンタクロースとお話しすることができます。本留学で私は良い先生や友人に恵まれ、実り多い留学をすることができました。今後は私の経験を通して留学の魅力を伝え、これから来る留学生、また旅立つ留学生の支援をできたらと思っています。</p>			

専攻	日本語・日本文化専攻	氏名	片山 梨花
留学先	韓瑞大学（韓国）	留学時期	2022年度秋学期（半年間）
<p>人や環境に恵まれ、どこを切り取っても素敵な思い出でいっぱい。留学先はソウルからバスで1時間半ほどのところにあった。ソウルとは異なり日本人が少なく、親切な人が多いように感じた。語学学校ではたくさんの友人ができ、韓国の伝統文化もたくさん体験することができた。振り返ってみると、時には自信を失うこともあったが、プラスのことが多すぎて落ち込んでいる暇はなかった。語学を学びに韓国へ行ったが、私は自分に対する可能性と希望を持って帰ってくるすることができた。もし留学することを迷っているならば、自分だけの経験を見つけるためにぜひ勇気をもって挑戦してほしい。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	坂田 莉奈
留学先	ラップランド大学（フィンランド）	留学時期	2022年度秋学期（半年間）
<p>私は韓国にある韓瑞大学校に半年間留学をしました。韓瑞大学校はソウルから離れた場所にあり、自然が豊かな場所でした。初めて海外に行ったため、緊張したり不慣れなことが多く、悩んでしまうこともありましたが、ルームメイトや韓瑞大学校でできた友人の力を借り有意義な時間を過ごすことが出来ました。</p> <p>大学の授業は全て韓国語で行われました。語学堂と呼ばれる語学学校にも通うことができましたが、私は通わずにその分大学の授業を受けました。語学堂に通っていると希望者は伝統文化を無料で体験できます。私は語学堂には通っていませんでしたが、留学生だからと声をかけて頂き体験できました。キムチを漬ける体験など、日本ではなかなかできないことを体験でき、いい経験になりました。また、留学生のみが体験出来るイベントに参加すると、他国の留学生とも交流が出来るため留学をして良かったと思いました。TOPICなどの検定を取得し、これからも語学力を磨きたいと思います。</p>			